東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2209回例会　2012.4.5

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
石山例会運営委員長

■点鐘：小町会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
樺澤パスト会長

◆ゲスト：
米山奨学生　朴動浩様

■会長報告　小町会長

4月に入り、桜も開花し桃色景色がなんと心を和ましてくれるでしょう。
ここにきて、例会出席率が下がっています。残り三ヶ月ではありますが、バンコク国際大会、東京東大和ロータリークラブ創立40周年式典もありますが、楽しい例会を考えていますので、ご協力よろしくお願いします。
東北大震災から早くも13ケ月が過ぎ、復興もまだまだのようです。我クラブも何らかのお役に立てればと、親睦旅行を福島方面の温泉地に行こうと赤木クラブ管理委員長を中心に計画しています。一年の閉めと中丸会長のスタートですので多くの参加をお願いします。
先日、例会においで下さいました、東京西南ロータリークラブの山下那康様より「高齢者の通信簿」と言うタイトルの本を出版され、送られてきました。皆様に回覧します。団塊世代の第二の人生のヒントの内容です。機会があれば卓話のお願いができればいいかと思います。
昨日、第10回4月度理事・役員会が久米川ウイングホテルで開催されました。議題一として、3月の収支明細報告が金子会計より説明報告があり、承認されました。第二に、5月22日の東京東大和ロータリークラブ、創立40周年式典は子クラブでもあり、例会振替で全員登録になりました。第三に、親睦旅行は6月14、15日、震災復興応援として福島県、白河方面へ白河南ロータリークラブの協力を得て進めていくことになりました。第四に、3月15日の夜間例会の会計報告があり承認されました。第五に、市報に掲載ありました、ＮＰＯ法人主催、空堀川清掃にＦＲＣ大清掃でお世話になったお礼も兼ねて、田中社会奉仕委員長と有志で参加することになりました。
先週、自分の性格がわかる心理テストの回答です。遊び程度です。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木　盛一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

あなたが旅に出ました。旅のお供は羊、馬、猿、ライオン、牛の5種類の動物です。協力し合って楽しく旅をしていましたが、旅の途中でお金がなくなって、一匹づつ売ってしまわなくてはいけなくなりました。さて、どの動物から順に手放しますか。手放す順番に5番まで付けてください。テストは動物が象徴しているものです。
◆羊：恋人、妻(温かい、やわらかな羊は妻の象徴。)
◆馬：仕事(またがって自分を運んでくれる馬は生活の手段、仕事の象徴)
◆猿：子供(いつも一緒にいてかわいい相棒、子供の象徴)
◆ライオン：親(プライド)(他の動物から脅威を守ってくれる強いライオンは親の象徴)
◆牛：ご飯(お金)(いつでも牛乳を運ぶ、食糧、ご飯の象徴)
あなたが、いざとなったら手放していいと思う順番です。

■幹事報告　野村幹事

■ローターアクト委員会：
2011-12年度国際ロータリー第2580地区(東京北部・沖縄)ローターアクト第43回地区年次大会の案内について
2012年5月26日(土)　13:00～
於　ロワジールホテル＆スパタワー那覇

■東京清瀬ＲＣ：
武蔵野分区ＩＭ報告書の受理
ホスト：東京清瀬ＲＣ

■国際ロータリー第2520地区ガバナー事務所：
「山田の作文」受理について
第2520地区 菅原一博ガバナー
復興支援実行委員会(仙台)より
山田ロータリークラブ作成の作文集

■心の東京革命：
心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)新会長就任の報告の受理
新会長　川淵 三郎

■回覧：
ガバナー月信
「有意な人生」をどう送るのか 高齢者の通信簿
山下邦康 著

■唱和

第10章　自分の職業の水準と品位を高める努力は職業奉仕だ

■出席報告　野村(裕)例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
33	24	0	6	80.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：89.66%
■前々会メークアップ者：
相羽会員：新宿ＲＣ
赤木会員：理事会
飯田会員：京都西ＲＣ
村田会員：東京東大和ＲＣ
野村(裕)会員：東京東大和ＲＣ
漆原会員：東京武蔵村山ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　島田例会運営委員

■皆出席：
石山会員(5回目)

■会員誕生祝月：
五十嵐会員、當麻会員

■ご結婚祝月：
隅屋会員、五十嵐会員
漆原会員、金子会員

◆野澤会員：とうとうやってしまいましたホールイワン。去る3月30日青梅ＧＣ西コース4番ホール155ヤード6番アイアンにて達

成しました。家内には先を越されましたが、私にとっても生涯の喜びです。この感激を近々皆さんと分かち合いたいと思います。

◆田中会員：昨日、相羽建設ゴルフコンペにて久々にベスグロ優勝できました。バンザイ！バンザイ！ マスターズも始まりゴルフシーズン到来です。私もゴルフを通じて社会貢献できるように頑張ります。

◆小町会長、野村幹事：
山本副委員長、本日の卓話よろしくお願いします。野澤さんホールインワンおめでとうございます。

本日のニコニコ合計：　41,000円
累　　計　：　993,322円

■奨学金贈呈

■小町会長より
米山奨学生
朴動浩様へ

新年度が始まりましたので、また頑張りたいと思います。

■委員長報告

■山本地区オン・ツー・
バンコク委員

皆さん、こんにちは。本当に穏やかで桜もだいぶ咲いて、とても素晴らしい気候になっております。オンツーバンコク、ちょうど今から1ヶ月後の出発になりますので、皆様健康にはご留意なさいまして、全員の方が元気良く旅行に行けるようにお願いをしたいと思います。それから、本日ですが、私の所属委員長が皆さんお休みなので、この後も引き続きたいと思いますけれども、最後まで話を聞いて頂きたいと思います。まず、国際奉仕の戸澤委員長、本日職業奉仕のため欠席ということで、言い遣っております。オンツーバンコクの人数その他のご報告です。まず人数は27名、当クラブからは15名、武蔵村山さんから8名、東大和さんから4名ということです。ＪＴＢの添乗員さんは、カナダの時に一緒に行かれました女性の鰐渕さんです。いらっしゃる方はご存知かと思いますが、シャキシャキとした、はっきり物事を言う、男性をまとめるのにはちょうど適役の方かと思う添乗員さんです。あと、成田までの足ですが、中條会員に無理をお願い致しまして、行きと帰りのバスを手配させて頂きました。5月5日の朝6時に東村山の東口を出発の予定でございます。詳細はまた事務局よりＦＡＸを流させて頂きますので、遅刻のないようにご集合下さい。あと一番大事なことですが、集金の件ですが、4月9日～10日あたりにＪＴＢさんから皆様のご自宅の方に直接ご請求書が行きます。確か皆様に頭金をお振込頂いておりますので、各自、その残金ということでご入金をお願いしたいと思います。もう1点は、バンコクでの、日本人の方・来賓の方・お客様のジャパンナイト、今回初めての地区の試みです。日本人のメンバーの方だけで、500名のご出席ということです。その他に来賓の方、現地の方、奨学生の方のプラス200～300名ということになりますので、800名くらいの大きな集まりになると思いますので、はぐれたりしないようになるべく集まって動いて頂きたいと思います。以上、現時点でのご報告を差し上げました。詳細はまた後ほどご連絡致しますので、ぜひ皆様宜しくご出発の準備をして頂きたいと思います。以上です。

■赤木クラブ管理委員長

皆さん、こんにちは。先ほど、会長の方からご報告がありました通り、本年度の親睦旅行ですが、まずは日時の方が決まりました。6月14(木)・15(金)です。行先は、白河の新甲子温泉という非常に静かな温泉地に行きたいと思っております。詳細につきましては、順次ご報告致しますので、今から予定に入れておいて頂きたいと思います。以上です。

■田中ゴルフ部長

こんにちは。来たる6月1日の金曜日ですが、青梅ゴルフクラブにて、ＦＲＣ親睦ゴルフ大会を開催致します。昨年の12月に予定しておりましたが、ゴルフ場に行きましたら雪が降り出してクローズとなり、仕切り直しの大会です。皆様と共に親睦を深めたいと思います。10組押さえております。ホストクラブでもあり、当クラブとしては3組～4組、大勢の皆様に参加頂ければと思いますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

■卓話(ロータリー雑誌月間に因んで)

■卓話者紹介：
目時プログラム委員長

■卓話者：
山本会員研修副委員長

皆様、改めましてこんにちは。本日は、町田委員長からロータリーの友のあるページを読んで皆様に聞いて頂きたいと伺っておりますので、そこの所を読ませて頂きたいと思います。それと、ロータリーの友の4月号の中で、私なりに目に留まった所、皆様も興味があるのではないかという所をご案内していきたいと思います。まず、左側から開きまして4ページ目です。

ロータリーとは
ロータリーの誕生とその成長
20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。
こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。
それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎに各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,282、会員総数1,218,199人(2011年12月31日ＲＩ公式発表)に達しています。
そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー
わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。
日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先輩達の功を忘れる事ができません。
その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。
その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は、2,293、会員数88,938人(2012年1月末現在)となっています。

ロータリーの綱領
ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある
第1　奉仕の機会として知り合いを広めること
第2　事業および専門職務の道徳的水準を高めること
　　あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること
　　そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること
第3　ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
第4　奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

次は、町田委員長からご指摘を頂きました、36ページ～39ページまでを、代読ということで読ませて頂きたいと思います。まず36ページと37ページです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト
ありがとう、ロータリアン！⑥　人生を支える、大切な出会い
米山学友　ヴ・レ・ビック・フーオンさん
いつかは訪れる身近な人との別れ。母国を離れ、日本で研究に打ち込む米山記念奨学生にとって、あるときは親代わりとなり、あるときは恩師のように人生を導いてくれる「カウンセラー」という存在も、その例外ではありません。昨年4月に事故で急逝されたカウンセラーをしのび、ベトナム出身の米山学友、ヴ・レ・ビック・フーオンさんが「私の人生の財産になっている」と語る、その出会いを振り返って、寄稿してくれました。

人生には三つの大切な出会いがあるそうです。一つ目は「人との出会い」、二つ目は「本との出合い」、三つ目は「仕事との出会い」。私のカウンセラー、亀ヶ谷邦博さんは、私にこの三つの出会いをもたらしてくれました。私にとって、とても大切な出会いです。

カウンセラー夫妻の明るさに学んで
私が、米山記念奨学生になったのは修士2年目、建築構造に関する解析や実験をテーマとした研究室に所属し、毎日終電まで研究に取り組む生活でした。奨学金のおかげで研究に集中できましたが、疲れたり、研究が進

まなかったりして、ストレスを感じることがよくありました。そんなとき、いつも亀ヶ谷さんと夫人の純子さんが声をかけて、励ましてくれました。お二人は、とても明るく、表情豊かで、情熱的で、積極的でした。お二人と話しているとエネルギーをもらい、負けないように頑張ろうという気持ちになりました。
そのうち、お二人のように何事も積極的に考えれば、元気になり、行動力アップにもつながることがわかってきました。お二人は、私の指導教員のところへもあいさつにこられ、論文発表会や学位授与式にも出席してくれました。自分の親が日本にいても、これほど世話をしてもらえないだろうと、私は心から感動し、感謝しました。

突然訪れた悲しい別れ
卒業後、私は母国で大規模な建造物や都市開発に携わりたいという夢に向け、そうしたプロジェクトを数多く手がける日本の大手建築設計事務所に就職しました。亀ヶ谷さんは建築にも造詣が深く、私が知らないことも知っていたりしました。私の成功と母国への貢献を望んでくれて、会うたびに、「今はどんな建物を設計しているの」「ベトナムに関わる仕事をしているの」と聞かれ、話すと喜んでくれました。
これからもずっと私の成長や、頑張る姿を見守ってくれると思っていました。カウンセラーと奨学生は、世代も、国も文化も違います。私と亀ヶ谷夫妻はそのギャップを超えて少しずつ絆をつくってきましたが、私が経験を積めばいつかはそれもなくなり、亀ヶ谷さんと対等に議論できる時がやって来る、と信じていました。けれども、予期せぬ悲しい別れが突然やってきました。亀ヶ谷さんは昨年4月、不慮の事故に遭い、帰らぬ人となったのです。

いなくなって、気づいたこと
出会いから3年、当たり前のようにいてくれた存在がいなくなって、気づいたことがたくさんあります。この3年間、私の人生のイベントには、いつもお二人がいてくれました。毎年恒例の亀ヶ谷家の集まりにも呼んでくれて、本当に家族のように接してくれました。
私の母国について何でも知りたがって、私はベトナムのことが詳しくなりました。2010年、旧正月の帰省を前に「よかったら一緒に行って、母に会っていただけませんか」とお誘いすると、すでに決まっていた予定をキャンセルして、私の実家を夫婦で訪問してくれました。(本誌2010年7月号縦組みＰ18～19参照)。
カウンセラーの時も、それが終わった後も、亀ヶ谷さんは多くのロータリアンや知人の方を紹介してくれました。いろいろな職業や年齢の方と話すのが面白く、視野が広がり、新しい発想ができるようになりました。本来なら得られないたくさんの出会いを、亀ヶ谷夫妻とロータリーの活動を通じて得られました。

お互いのギャップを超えて
読書家の亀ヶ谷さんは、よくご自身の好きな本を私に薦めてくれました。特に経営学者のピーター・ドラッカーがお好きで、読みやすい入門書を私にくれました。小説はよく読みますが、私にとって社会や経済の本は難しく、忙しいと理由をつけて、ずっと棚にしまっていました。亀ヶ谷さんが亡くなった後、それらの本を手にと取り、読み終えました。社会人として会社組織で働いている今は思い当たることがたくさんあり、こんなに読みやすくまとめた本があるのだと感動しました。亀ヶ谷さんのおかげで、新たな本との出合いを得られ、それによって仕事との関わり方を教わりました。

亀ヶ谷さんとの出会いは、私の人生を支えてくれています。「もっと感謝の気持ちを伝えておけば･･･」、「こうしておけばよかった」と、後悔の気持ちは消えませんが、これからは私が、大切な人に、大切になるかもしれないすべての人に対し、亀ヶ谷夫妻のように接し、お互いのギャップを越えていけるよう努力したいと思います。

故・亀ヶ谷邦博氏夫人・純子さんから一言
「何事も経験してみないとわからないから」と、主人がガバナーの時に手を挙げ、夫婦で協力して務めた、初めての米山カウンセラーでした。慎み深い彼女に対し、最初はどこまで踏み込んでいいのかと、遠慮や戸惑いが大きかったのですが、時間をかけて少しずつ、本当の家族のような関係を築けたと思います。深く付き合うほどお互いへの理解が深まり、フーオンも私たちも成長することが出来ました。昨年末、ベトナムで挙げたフーオンの結婚式に、孫たちを連れて参列しました。主人はきっと「花嫁の父」のような気持ちで、天国から見ていたと思います。

次は、38ページです。
第11回　日韓親善会議開催のお知らせ
昨年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災により1年延期となっていた第11回日韓親善会議が、右記内容にて東京で実施することに決まりました。同大震災に対し、韓国各地区、クラブ、ロータリアンから多額の義援金や数多くの支援プロジェクトを通し、日韓のロータリアンの親睦と絆は、より一層深まったと思います。今回の日韓親善会議は、韓国のロータリアンからの支援と温かい友情に感謝をするとともに、被災地の現状、支援プロジェクトの発表などを通して、日韓の絆を強調する会にしたいと存じます。何とぞ多数のロータリアン、ご家族の参加を賜りたく、よろしくお願い致します。
日　時　2012年8月31日(金)～9月1日(土)
場　所　グランドプリンスホテル新高輪「飛天」の間
登録料　2万2000円(参加登録料、懇親会昼食代を含む)
これから時期が近くなればご案内があると思います。ぜひご興味があれば参加されるのはとても良いことかと思います。
韓国と言えば、今年、地区の方で任意で医療団を集め、1週間近く韓国の奥地に治療に行かれていたと思います。また、義援金に関しては、韓国の方も海外の方は日本国内よりもとても早い時期に寄付をして頂いて、非常に感謝しております。

続きまして、39ページです。
ロータリアンの3大義務
ロータリークラブに入会すると、まず、先輩会員から、ロータリーについての基本的な話を聞くことになると思います。皆さまはどのような話を聞かれましたか？「例会はとても大切ですから、休まないように」などという話を聞かれた方もおありでしょう。
ロータリーは、「まず例会出席から」と言われています。標準ロータリークラブ定款第9条に、出席に関して書かれていますが、その第1節には、「各会員は本クラブの例会に出席するべきものとする(後略)」とありますが、このように、例会への出席は、ロータリークラブの会員の義務の一つになっています。
例会は基本的に週1回開催されます。Ｅクラブの会員は定められた曜日･時間から1週間の間にクラブのホームページにアクセスすることで、出席することができます。やむを得ない事情により欠席した場合は、その例会の

前後14日以内に、ほかのロータリークラブの例会やそのほかロータリークラブ定款に定められている、他の会合に出席すること(Ｅクラブの例会にアクセスすることも含む)によって、欠席をメークアップ(補填)することができます。
年度の半期間において、メークアップを含むクラブ例会出席率が50％に達していない場合、所属クラブの例会総数のうち少なくとも30％に出席していない場合、クラブ理事会が正当かつ十分な理由があると認めなければ、会員身分が終結することがあります。ちょっと難しい言い方ですが、要は、ロータリアンではなくなるということです。
さて、皆さまは、所属クラブに会費を納めていらっしゃると思いますが、会費の納入もロータリアンの義務です。しかし、会費の金額、その内訳は、クラブによって異なります。
所定の期限後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、クラブ幹事が書面で催告をして、その後10日以内に会費が納入されなければ、理事会の裁量で会員身分が終結しても差し支えないことになっています。
会員が納めた会費の使途はクラブによって異なりますが、ほとんどのクラブでは、この中に国際ロータリー(ＲＩ)の人頭分担金という、ロータリアンがＲＩに納めなければならないお金も含まれています。クラブがＲＩに人頭分担金を納めなかった場合は、一定の手続きを経て、クラブが消滅してしまうことになります。
3つ目が、雑誌の購読です。ＲＩの機関紙は、ＲＩ世界本部で発行している「The　Rotarian」です。このほかに世界各地で、30のロータリー地域雑誌が発行されています。これらロータリー関係の雑誌を合わせて「Rotary World Magazine Press」と呼びます。皆さまのお手元に毎月届いている「ロータリーの友」も、ロータリー地域雑誌に指定されていますから、日本のロータリアンの皆さまは、この「ロータリーの友」か「The　Rotarian」を購読すれば、その義務を果たすことになります。
しかし、「購読」ですから、単に代金を支払って「買う」ということではなく、その雑誌を「読む」必要があります。
「ロータリーの友」は1953年(昭和28)年1月に創刊、1980(昭和55)年7月号から、ＲＩの公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)に指定されました。近年では、各地域雑誌がウェブサイトを開設していますが、「ロータリーの友」でも「Rotary　Japan」www.rotary.or.jpを開設し、ロータリーの内外に向けて情報を発信しています、
以上のように、「例会の出席」「会費の納入」「雑誌の購読」が、ロータリアンの3大義務と言われるものです。皆さまは、きちんと義務を果たしていらっしゃいますか。

代読は以上となります。
それと、Ｅクラブに関して、15ページに「Ｅクラブが存在する理由を読んで」という題で載っておりますので、皆様に読んで頂きたいと思います。東京練馬中央クラブの堀部さんという方が書かれており、私もその通りだなと思いました。皆さんご意見は色々とあると思いますが、ロータリーの基本は例会に出て皆さんの顔を見て情報交換をしていくことが最も大切で、それが親睦につながっていくと思います。やはりインターネットだけのアクセスで終わるというのは、あまりにも機械的で、ロータリーの根本的な奉仕と親睦から離れていってしまうと思いますので、個人的にはまだ早いのではないかなと思います。
以上、長いお時間ありがとうございました。

■第10回(4月度)理事・役員会

2012年4月4日(水)　18:30～20:10
於　久米川ウィングホテル

■4月度の収支明細報告について
金子会計より報告があり、報告の通り承認されました。

■東京東大和ＲＣ創立40周年記念式典
当日は、例会変更とし、原則全員登録で式に臨む。
場所：立川グランドホテル
日時：平成24年5月22日(火)14時より登録開始

■親睦旅行について
6月14日(木)～15日(金)の1泊2日で、福島県新甲子温泉五峰荘を予定
白河南ＲＣの福山さんを仲介者として、東北旅行と親睦を図りに行く事を承認。

■その他事項
・45周年記念式典の最終報告書が、まだなので野澤実行委員長に確認。
・夜間例会収支報告書を回覧し、確認を得る。
3月15日(木)彩雅
・4月28日(土)空堀川清流を守る会主催の行事参加を田中委員長に一任しました。

■次回の理事会は平成24年5月2日(水)
於 たきび　18:30～

■点鐘：小町会長